

復興町民会議 防災まちづくり分科会報告

【分科会委員】

分科会長 山田忠敬(公募) 副会長 阪本鏡子(公募)
 委員 岩瀬千鶴子(公募) 杉浦羊子(公募) 森田利夫(公募) 中田保(公募) 柳瀬清一(公募)
 山本仁(公募) 沖山尉(消防長) 安孫子昌弘(支庁土木課長) 植松豊(消防団総務部長)
 高橋千香(町議会議員)

【検討内容と意見・要望】

3 全島にかかわる復興計画

復興の柱4 防災まちづくりの強化 (p.17)

方針① 台風26号に伴う豪雨災害の検証と地域防災計画の改訂

p.17 ◆方針の記述について、災害を列挙するのであれば、火山の噴火などの記述もあったほうがよいのではないかと。p.20 ◆主な施策の「4-4-4 災害危険や状況の変化に対応した避難計画の改訂」も同様である。

方針② 災害情報の連絡体制の再構築

p.17 ◆方針の記述について、災害情報に関して町から住民に対して発信するものしか記述されていない。住民からの情報を共有するシステムについても記述すべきではないかと。

p.20 ◆主な施策の「4-2-2 町民への情報伝達手段の整備」について、ホームページという決まったものが掲載されているというイメージであり、ツイッター等とは違うものになる。そのため、ここはインターネットとしたほうがニュアンスが良いのではないかと。

方針⑤ 避難施設の強化等

p.20 ◆主な施策の「4-5-7 避難施設の強化」が後期の施策となっているが、どう「安全に」避難するかというところは早期に行うべきであり、前期に入れるべきではないかと。

方針⑥ 災害教訓の伝承と地域防災力の向上

p.21 ◆主な施策の「4-6-3 災害の記録の作成」に、「子供たちへの防災教育のため、防災副読本の作成を進める。」を追記してはどうか。

p.21 ◆主な施策の「4-6-6 災害教訓の伝承」で編纂するのは記録誌ではなく「副読本」と銘打って、今後起きうる事態についてどう対応していくのかということを整理し伝えていくべきではないかと。

p.21 ◆主な施策の「4-6-3、4-6-6」災害・復興の記録誌は、これはこれで残しておくものだが、子供たちの防災教育の副読本は別途作成する必要がある。

p.21 ◆主な施策の「4-6-3、4-6-6」災害・復興の記録誌とあるが、映像でも残したほうがいい。

p.21 ◆主な施策の「4-6-4 災害教訓を伝える資料整備」に追記で、p.15 復興の柱3 産業・観光復興支援 方針④観光振興の推進 ◆主な施策の「3-4-8 新たな観光資源の整備と活用」のひとつめ『・元町地区の復興まちづくりと連携して、災害の記憶をとどめる施設の整備、災害・防災教育の場としての活用を検討します。』を再掲してはどうか。